

よろしくお祈いします

26年1月の17号を持ってしばらく休刊していた「もやい」ですが、今年度から復活することにしました。担当者も変わりましたが、よりわかりやすく読みやすい教育情報の発行に努めたいと考えております。「教育委員会(町教委)や学校の動きを広く町民の皆様にご覧いただき、学校と家庭・地域との連携をより一層深めていきたい。」「町内における様々な課題・活動、学びに関する情報の発信に努め、人と人・学びと学びをつなぎ結んでいきたい」と考えています。どうぞよろしくお祈いいたします。

新年度スタート

各幼稚園・各学校では、新入園児・新入生を迎え、新年度がスタートしました。学年が一つ上がった子どもたちも含めこの時期は、不安と期待で胸がいっぱいではないかと思えます。



羅臼町では、始業式・入学式から現在まで大きな事故もなく穏やかなスタートを切りました。今後とも子どもたちの健やかで安心した成長のために日々見守っていただくことをお願いいたします。

また、教職員も人事異動があり次の先生方が羅臼町に赴任してこられましたのでご紹介いたします。

羅臼小学校	すがわら あや 管原 綾 先生	まぶち みつあき 間瀬 光昭 先生
	おの あきこ 小野 亮子 先生	よしだ え 吉田まり恵 先生
	ぬまやま せいや 沼山 聖野 事務	
春松小学校	なかがわ きみたか 中川 公孝 教頭	たむら やすあき 田村 康章 先生
羅臼中学校	あいざわ かなめ 相澤 要 校長	しんや のりまさ 新屋 典正 先生
	さくらば やすな 櫻庭 愛奈 先生	こんの しょうご 今野 祥吾 先生
春松中学校	てるい やすゆき 照井 康之 先生	すがわら ゆうと 管原 祐人 事務
羅臼高校	しまむら まさき 島村 真幸 教頭	しんどう ゆか 進藤 祐香 先生
	はれやま しゅんいち 晴山 俊一 先生	たけもり かずま 竹守 一馬 先生
	はしもと のりひろ 橋本 紀弘 事務長	かわの はやと 河野 隼斗 先生

本をかりたよ

4月21日(木)・22日(金)の2日間をかけて羅臼幼稚園・春松幼稚園の両園で、園児たちに本をかりるためのお話を司書さんが園児全員を対象に行いました。

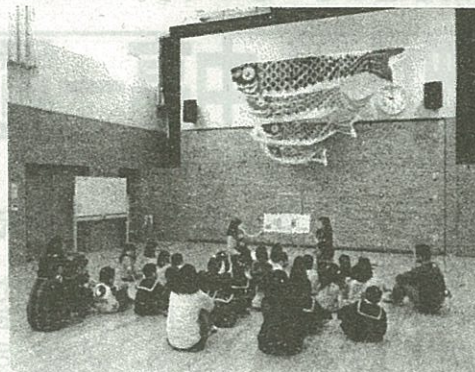
まずはじめに、本の扱い方を具体物や絵を使いながらわかりやすく説明しました。

その後、大きな絵本2冊の読み聞かせをしました。

園児たちは、お話にすっかり夢中になっていました。

園児たちの敏感な反応に、驚かされるのが何度もありました。

借り方の説明を受けた後、いっばいに広げているたくさんの絵本や紙芝居の中から読みたい本を何冊も選んでいました。子どもたちみんなが本を好きなのがよくわかります。もう自分で本を読める子もいるようです。



いろいろな本をたくさん読んでほしいですね。また、小学校4年生くらいまでは、親が読み聞かせをしてあげてもいいと言われています。子どもたちに自分で読ませるだけではなく、是非親が寝る前に読んであげていただきたいと思えます。

本は、頭と心の栄養です。読むだけで自然といろいろな力が備わってきます。成長のための大きなベースとなっていきます。

図書室には、お子さん方に読んでいただきたい本が、たくさんあります。また、どのような本が読みたいか言っていただければ、司書の方が親身になって探してくれます。

是非、図書室の利用をお願いいたします。

「こまぐさ学級」が4月26日(火)に開校式を行いスタートしました。また、「知床(しっこ)Kids(キッズ)」は、5月21日(土)に開級式、その後シャチ・海鳥ウォッチング行い、いよいよスタートします。今年度も楽しい学習メニューを用意して準備を進めています。参加者募集については、こまぐさ学級・知床Kidsともすでに募集を終了しています。今後においても参加したい方のご相談に応じますので、興味のある方は一度活動をのぞいてみてはいかがでしょうか。

〈 今年度の主な活動 〉

【こまぐさ学級】	【知床Kids】
4月26日 開級式 講話	5月21日 開級式
5月24日 講話・レク	シャチ・海鳥ウォッチング
6月 7日 花壇清掃	6月26日 知床岬清掃
7月12日 サクランボ狩り	7月10日 磯の生物の観察・採集
7月26日 講話・運動会	8月10日~11日 キャンプ
8月23日 「こけのテラリウム作り」	9月10日 羅臼湖トレッキング
9月 8日 羅臼幼稚園児と遊ぼう	10月29日 海の生き物観察体験
10月11日 春松幼稚園時と遊ぼう	11月19日 遺跡学習
10月18日 クラブ活動	12月 3日 もちつき交流
11月26日 ふれあいコンサート出場	1月28日 お楽しみプログラム
12月 3日 知床Kidsと餅つき交流会	2月18日 オジロ・オオワシ観察

日本語検定が行われます(6月17日)

羅臼町では、昨年から日本語検定を実施しています。日本語を正しく使えるようになると、より深く、細かく考えることができます。「日本語の力」は、国語だけではなく、全ての教科の学習を伸ばす基礎となります。

日本語検定で他の教科に「つなげる力」を身に付け自分を磨いて、学力を伸ばす一助にして欲しいと考えています。

7級は、小学校3年生から受けることができます。小中高校生は、受験料の半額が補助されます。

受験者が多いと各学校が試験会場となる場合もあります。申込用紙は各学校においてあります。担任の先生などにお話しして下さい。児童・生徒の皆さんは、申込用紙に必要事項を記入して担任の先生にお渡し下さい。一般の方々も、教委(学務)までお問い合わせ下さい。

# ESDは未来への道しるべ

最近カラスの鳴かない日はあってもESDという語を耳にしない日はありません。

羅臼流に言えば「ゴミの糞が降らない日はあってもESDという語が降ってこない日はない」となるでしょう。耳に馴染むにつれてESDが「Education for Sustainable Development=持続可能な開発のための教育」であることも広く知られてきました。



過日、「食べもの文化」(2016年4月号 株式会社芽ばえ社)という雑誌に諏訪保育園園長(東京都八王子市)の島本一男氏の講演が紹介されていました。この講演は、昨年7月の「第30回食と健康を考えるシンポジウム(東京)」の分科会で行われたものです。主に幼稚園や保育園に食育と給食の望ましいあり方、中



でも栄養士や調理員と教諭や保育士など職種の異なるスタッフや保護者との連携について述べられたものですがESDの重要性についても強調されました。

ここで彼は、こう述べています。

「持続可能という視点でこれらを捉えるとき、保育園も調理の仕事も、これまでのように地域の子どもたちを預かり、食事を提供するというだけではダメになっていきます。地域の子を園に集めて囲いこみ生活させ、行事で楽しませるだけの自己完結型の保育園ではいけないのです。」そして、これからの保育園は地域に開かれている必要があります。保育園が子どもと地域をつなぐ橋渡しをする時代になった、と指摘しています。

さらに、保育者自身が地域の人たちとのつながりを大切に、声をかけあうことが子どもたちの育ちに欠かせないこと、そしてこそ保育をし食事を提供しながら貧困の問題や人権、自然環境、平和等々のことを話し合っ持続可能な社会を作っていくためのESDの視点であると結論しています。

ここで書かれている「保育園」を「学校」に、「保育士」を「教員」と置き換えても全く同じことが言えるでしょう。

食育はESDの中でも重要な分野なのです。食品添加物や放射性物質など生命に対する危険性の問題、飢餓、発展途上国の貧困の上に胡座をかき不公正な貿易を押しつける先進国、食材を「商品」としか見なさないために長距離輸送を余儀なくされエネルギーを過剰に消費する問題など「食」の切り口から現在の地球が直面する様々な環境問題が見えてきます。

このようにESDは、今まではそれぞれバラバラに論じられていた様々な課題が、実は相互に密接に関連しており、共通の根か

ら生じる構造であることを明らかにしています。問題を解決するためには構造の解明が不可欠なのです。

そのESDの実践が依って立つ場がユネスコスクールです。

また、ESDの学びは「知識を与える・受け取る」という旧来の授業形態だけでは決して達成されません。なぜなら持続可能性を問われる問題には解決の道筋=正解が示されていないものが圧倒的に多いのですから。指導者にも正解がわかりません。重要なことは課題を共有し、ともに考え行動すること。そうすることで児童生徒に問題を調べ、話し合い、考え、社会的に発言する能力が育っていきます。この学び方はアクティブラーニングです。

子どもたちは、地域で暮らす人々の協力で様々な地域課題を調べます。学校も自己完結型で周囲と断絶していたのでは課題も見えないし解決への道筋など見出せません。

これに答えるのがコミュニティスクールです。

このようにESDは、数多ある教育法や教育思想の一つではなく、様々な教育的アプローチをつなぎ合わせるホリスティック(包括的)な考え方です。そしてそれは、地球や人類の未来を示すもっとも有効な道しるべなのです。



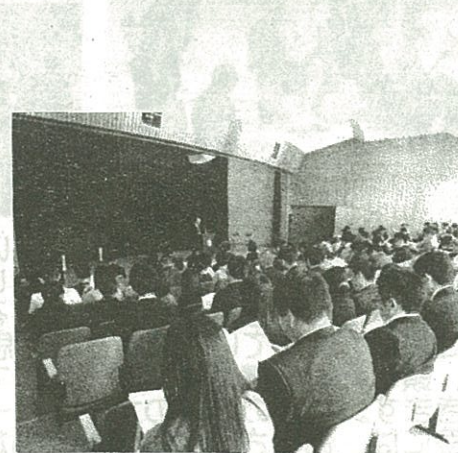
## 羅臼町幼小中高一貫教育研究会

～平成28年度全体会終える～

「羅臼町幼・小・中・高一貫教育研究会(以下「一貫研」という。)」の全体会が去る4月27日(水)、羅臼小学校を会場に開催され、5年目となる活動をスタートさせました。町内の教職員が一堂に会する全体会では、はじめに今年度羅臼町に新たにいられた先生方総勢19名の自己紹介がありました。歓迎の大きな拍手が贈られていました。その後、山崎教育長のあいさつがあり、引き続き前年度の活動報告と今年度の事業計画についての大枠が示されました。全体会終了後は、実動部隊となる各部会ごとに分かれ、今年度の取り組みの詳細についての話し合いが行われました。



転入者の自己紹介



教育長あいさつ

幼小中高一貫教育研究会の各部会の活動内容を一部紹介します。

### 【学力向上部会】

活動の柱を「学力向上につながる授業改善」にしています。本部会の活動は、「幼稚園から高校までをつないだ教科研究の場」と「幼稚園・小学校の横のつながり(年齢や学年)を視点に持った研修の場」の二本立てとしています。活動内容は授業研究・児童生徒理解などに視点を当てて研究実践活動を行います。

### 教科部会について

教科部会の構成は、幼、小、中、高の各園各校、最低1名は教科会等(「国語」「算数数学」「理科」「社会」「体育」「芸実」「特別支援」「養護」「事務」)の中に入るよう調整してもらいます。各教科部会は、最低年4回を活動日とします。

### 【特別活動部会】

特別活動部会は、「生徒指導」「児童生徒活動」「部活動交流」がおもな活動となります。幼稚園以外の小・中・高の先生方で活動しています。学校代表者2名で構成し、町内行事や長期休業中の生徒指導に関すること、児童会・生徒会活動の連携について協議します。

### 活動について

各校の生徒指導に関する情報の情報交換や町内行事への参加について話し合います。

ボランティア活動、豊漁の舞に関する事業を推進します。ユネスコスクール研究発表会の進行について、総合学習部会と協力し、連携していきます。

### 【総合学習部会】

総合学習部会は、ESDの理念を踏まえ、園児児童生徒が発達段階に応じた地域の豊かな自然や産業について活動し、クマ学習や羅臼町に関する学習、将来の生き方や望ましい職業感を育むキャリア学習についてどのように幼小中高でつながりを持ち、効果的に「学びの連続」を行うか協議する部会です。

### 活動について

ESDの理念を踏まえた「ユネスコスクールとしての活動・自然環境学習」など地域のことを学ぶ知床学を幼小中高でどのように学習するか検討します。

将来の生き方や望ましい職業観をはぐくむために幼小中高でどのようにキャリア学習するかを検討します。

ユネスコスクール発表会の企画をします。

### 【地区交流部会】

地区交流部会は、羅臼地区を羅臼幼稚園・羅臼小学校、羅臼中学校、春松地区を春松幼稚園・春松小学校・春松中学校とし、小1プロブレム・中1ギャップ・高1クライシスを解消するために園児児童生徒のなめらかなつながりを目指し、教職員の交流会や研修を行ったり、園児児童生徒の交流学習、行事の相互参加に関する活動を行ったりします。

### 活動について

1学期～中1授業参観、2学期～交流会、公開保育参観、3学期～小6授業参観を行います。交流は地区ごとですが、お互いに情報交換し、良い取り組みは共通して実施していきます。

平成28年度 羅臼町一貫教育学習指導法研究会  
羅臼高等学校で実施します。11月21日(月)